

リスク関連情報 補足説明資料
2014

2013年(平成25年)4月1日～2014年(平成26年)3月31日

目次

1. トップリスク	
主要なトップリスク	P.2
2. 連結事業本部別/リスク種別 リスク・アセット	P.3
3. 信用リスクに係る情報	
(1)与信残高(セグメント別・科目別)	P.4
(2)信用リスク・アセット	P.5
(3)デリバティブ取引	P.6
4. 流動性リスクに係る情報	
(1)主な流動資産の保有状況	P.7
(2)主要な調達手段と期間構成	P.8
5. 資本	
自己資本の推移	P.9

※ 上記以外のリスク関連情報を含むリスク関連情報リンク一覧は以下のURLをご参照ください。

<http://www.mufig.jp/ir/risk/>

1. トップリスク

【主要なトップリスク】

リスク事象	リスクシナリオ*(例)	リスク事象	リスクシナリオ*(例)
長期金利上昇による損失拡大のリスク	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本邦財政運営への信認低下、緊急経済対策に伴う国債増発、政府の日銀への過度な介入懸念等から日本国債金利が急上昇。 ▶ 米国で量的金融緩和縮小のペースが加速し、米国債金利が急上昇。 	マネーロンダリングや不公正取引等に関するリスク	▶ マネーロンダリングや不公正取引による業務停止命令等の処分や課徴金等の支払及び評判悪化等。
		金融犯罪(ネットバンキング不正)に関するリスク	▶ インターネットバンキング不正送金への対応不備による評判の悪化等。
政策投資株式の損失拡大のリスク	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 世界的なリスク資産圧縮の加速、その他の全般的な経済動向や大口保有先の業績悪化等により、株価が下落し、政策株の評価損や減損が拡大。 ▶ アベノミクスへの期待剥落等により、国内上場企業の業績悪化懸念が台頭し、政策株の評価損や減損が拡大。 	情報紛失・漏洩／サイバー攻撃による損失発生、評判悪化のリスク	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 管理態勢不備やサイバー攻撃等により顧客情報が大量漏洩。 ▶ 情報セキュリティに関する事故発生時の対応不備。

* リスクシナリオ:平成26年3月の当社リスク管理委員会で議論され、取締役会に報告されたものの一例です。一般的に起こり得る事象で、当社固有でない事象も含まれます。

【トップリスク定義】

- ▶ 今後約1年間で最も注意すべきと当社が認識しているリスク。リスクが顕在化した場合の影響が大きく、蓋然性が高いリスク(蓋然性が高まる虞がある場合も含む)。
- ▶ 定量的に計測可能なリスクのみならず、将来において戦略や風評等を通じ経営に重要な影響を及ぼしうるリスクも含む。

(注) 上記は当社が認識しているリスクの一部を記載したものであり、これら以外のリスクにより経営に重大な悪影響が生ずる可能性があることにご留意下さい。当社及び当社グループのリスクについてのより詳細な情報については、当社が提出した有価証券報告書、四半期報告書、Form20-F、Form6-K等の開示文書をご参照下さい。

2. 連結事業本部別／リスク種別 リスク・アセット

- 26年3月末時点のリスク・アセット総額は99.0兆円。
- 国際・市場における信用リスク増加を主因として、合計では25年3月末比で11.1兆円増加。

平成26年3月末時点

(単位:兆円)	平成26年3月末時点					合計
	うちリテール	うち法人	うち国際	うち受託財産	うち市場	
信用リスク	9.8	29.5	28.8	0.4	8.1	88.0
前年比	▲0.6	▲2.3	5.6	0.0	0.9	8.2
マーケットリスク	0.0	0.0	0.0	0.1	2.6	2.3
前年比	▲0.0	▲0.0	0.0	0.0	▲0.2	▲0.1
オペレーショナルリスク	1.5	0.9	1.6	0.3	0.4	6.0
前年比	▲0.2	▲0.0	0.5	0.0	0.1	0.7
フロア調整額	-	-	-	-	-	2.6
前年比	-	-	-	-	-	2.2
リスク・アセット合計	11.4	30.6	30.5	0.9	11.2	99.0
前年比	▲0.9	▲2.4	6.1	0.1	0.9	11.1

(注) 1. 上記計数は、財務上のリスク・アセット(段階実施)を連結事業本部別に切り分けた管理計数です。

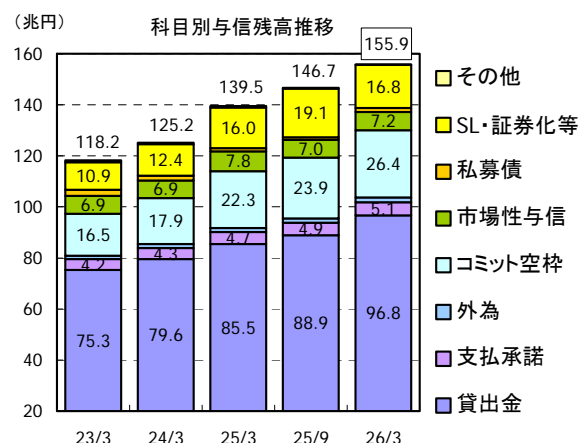
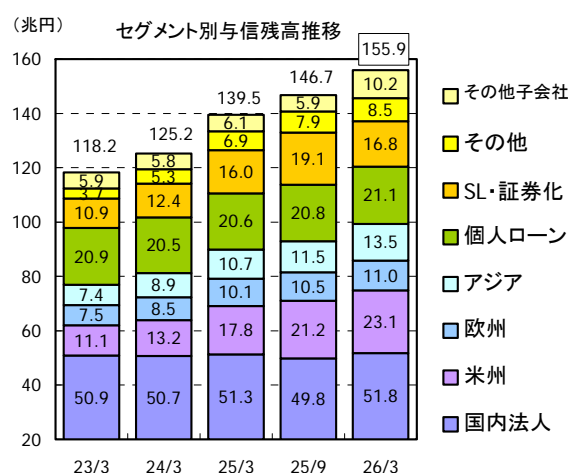
3. 信用リスクに係る情報

(1) 与信残高(セグメント別・科目別)

- 26年3月末の与信残高は155.9兆円。25年9月末比9.2兆円の増加。
- セグメント別にみると、国内法人向けが51.8兆円。海外法人向けが47.5兆円。
海外法人向けは、円安影響もありアジアほか各地域で増加。
- 科目別では、貸出金が96.8兆円と全体の約6割を占めて最大。
コミットメント(空枠)は海外を中心に増加。

与信残高

(単位:兆円)		25/3	25/9	26/3	(年/月)
					25/9比
MUGF連結合計		139.5	146.7	155.9	+9.2
セグメント別	①国内法人	51.3	49.8	51.8	+1.9
	②海外法人	38.5	43.1	47.5	+4.4
	米州	17.8	21.2	23.1	+1.9
	欧州	10.1	10.5	11.0	+0.5
	アジア	10.7	11.5	13.5	+2.0
	③その他	43.5	47.8	46.3	▲1.4
	個人ローン	20.6	20.8	21.1	+0.2
	SL・証券化等	16.0	19.1	16.8	▲2.3
	その他	6.9	7.9	8.5	+0.6
	その他子会社	6.1	5.9	10.2	+4.3
科目別	貸出金	85.5	88.9	96.8	+7.9
	支払承諾	4.7	4.9	5.1	+0.2
	外為	1.5	1.7	1.8	+0.2
	コミットメント(空枠)	22.3	23.9	26.4	+2.5
	市場性と信	7.8	7.0	7.2	+0.3
	私募債	1.2	1.0	1.6	+0.6
	SL・証券化等	16.0	19.1	16.8	▲2.3
	その他	0.5	0.3	0.3	▲0.0



(注) 1. 図表中の略称はそれぞれ下記を表しています。

MUGF…三菱UFJフィナンシャル・グループ、BTMU…三菱東京UFJ銀行

MUTB…三菱UFJ信託銀行、MUB…MUGF Union Bank, N.A.

SL…特定貸付債権(Specialized Lending)

2. 内部管理用の計数であり、財務諸表の計数とは一致しません。

3. セグメント別においてMUBの法人向けエクスポージャーは米州に含めています。

4. 科目別において三菱UFJ証券ホールディングスのエクスポージャーは市場性と信に含めています。

3. 信用リスクに係る情報

(2) 信用リスク・アセット

➤ 26年3月末の信用リスク・アセット(信用RWA)は87.4兆円。

平成26年3月末時点

(兆円)	推定デフォルト率	EAD	PD 加重 平均値	LGD 加重 平均値	信用 RWA	RW 加重 平均値	外部格付 S&P/Moody's
事業法人等	-	186.1	-	-	38.3	20.6%	
事業法人	-	81.7	-	-	34.6	42.3%	
格付1~3	0.000%~0.080%	32.5	0.12%	34.83%	8.3	25.4%	AAA/Aaa~BBB-/Baa3
格付4~9	0.081%~2.500%	43.4	0.79%	30.14%	20.9	48.2%	BB+/Ba1~B-/B3
格付10~11	2.500%超	4.2	10.69%	25.47%	4.7	111.7%	CCC+/Caa1~
格付12~15		1.6	100.00%	39.29%	0.7	43.3%	
ソブリン	-	94.7	-	-	0.8	0.8%	
格付1~3	0.000%~0.080%	94.1	0.00%	36.46%	0.5	0.5%	AAA/Aaa~BBB-/Baa3
格付4~9	0.081%~2.500%	0.5	0.75%	29.75%	0.2	46.5%	BB+/Ba1~B-/B3
格付10~11	2.500%超	0.1	14.88%	6.34%	0.0	35.0%	CCC+/Caa1~
格付12~15		0.0	100.00%	24.82%	0.0	43.8%	
金融機関	-	9.3	-	-	2.6	28.1%	
格付1~3	0.000%~0.080%	6.9	0.10%	32.28%	1.9	26.7%	AAA/Aaa~BBB-/Baa3
格付4~9	0.081%~2.500%	2.3	0.27%	31.88%	0.6	27.7%	BB+/Ba1~B-/B3
格付10~11	2.500%超	0.1	15.29%	26.22%	0.1	147.6%	CCC+/Caa1~
格付12~15		0.0	100.00%	78.97%	0.0	22.1%	
SL(特定貸付債権)	-	0.3	-	-	0.3	105.2%	
リテール	-	21.5	-	-	6.4	29.6%	
株式・みなし計算	-	9.3	-	-	12.1	130.7%	
その他	-	22.4	-	-	10.5	46.6%	
段階的適用部分	-	16.9	-	-	11.9	70.3%	
適用除外部分	-	14.8	-	-	8.3	56.2%	
信用リスク 合計		271.0	-	-	87.4	32.3%	

- (注) 1. リスク・アセットはバーゼルⅢ完全実施ベースの数値を表示しています。段階実施ベースのリスク・アセットは88.0兆円です。
 2. リスク・アセット算出に対応したPD/LGD/EADといった各種パラメータは定期的に推計を実施し、年1回以上の頻度でバック・テスト、外部データとの比較等により検証をしています。
 3. 推定デフォルト率は、本邦財務上のデフォルト定義に基く今後1年間のデフォルト確率を示します。

➤ 為替変動、アユタヤ銀行子会社化を主因として、25年3月末比で8.3兆円の増加。

(兆円)	信用RWA
前期末残高(平成25年3月末)	79.1
為替レート変動	+3.6
アユタヤ銀行子会社化	+3.2
与信残高変動	+1.9
株価変動	+0.8
パラメータ変動	▲ 0.9
債務者格付の変動	▲ 0.8
その他要因	+0.5
当期末残高(平成26年3月末)	87.4

3. 信用リスクに係る情報

(3) デリバティブ取引

- 26年3月末のデリバティブ取引に係るエクスポージャーは約9.6兆円。
うち、中央清算機関を通じて決済する取引に係るエクスポージャーは約2.7兆円。

デリバティブ取引に係るエクスポージャー

(単位: 億円)	24/3	25/3	25/9	26/3	(年/月)
					25/9比
デリバティブ取引合計	63,560	96,891	128,037	96,465	▲31,572
相対決済	63,560	68,602	66,397	69,764	+3,367
中央清算機関決済	-	28,289	61,640	26,700	▲34,940

- (注) 1. 信用リスク・アセット算出におけるエクスポージャーを記載しています。
2. 相対決済によるエクスポージャーは信用リスク削減効果勘案前の残高となっています。
3. 中央清算機関での決済によるエクスポージャーはトレード・エクスポージャーを記載しています。
4. 25年3月より中央清算機関での決済によるエクスポージャーを表示しています。

4. 流動性リスクに係る情報

(1) 主な流動資産の保有状況

- ▶ 三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)は、資金調達手段の一つとして活用できる換金性の高い流動資産を多く保有。
- ▶ MUFGが保有する流動資産の構成は、日本国債が高い割合を占める。

主な流動資産の保有状況(主要業態別)

平成26年3月末時点

(単位: 億円)	三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	三菱東京 UFJ銀行	三菱UFJ 信託銀行	三菱UFJ証券 ホールディングス
現預金	239,699	210,169	22,191	11,338
国内債券	503,880	374,975	70,140	59,844
国債	460,908	339,074	66,744	56,169
地方債	2,850	2,008	2	839
社債	40,122	33,893	3,394	2,836
外国債券	214,315	146,958	64,855	2,693
国内株式	50,043	35,577	8,600	6,429
外国株式	2,175	2,173	4	0
その他	63,634	47,240	7,289	9,072
小計	1,073,747	817,091	173,079	89,376
担保提供分	▲ 302,663	▲ 202,594	▲ 90,834	▲ 58,090
合計	771,084	614,497	82,244	31,286

平成25年3月末時点

(単位: 億円)	三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	三菱東京 UFJ銀行	三菱UFJ 信託銀行	三菱UFJ証券 ホールディングス
現預金	114,580	94,209	16,878	7,199
国内債券	578,786	460,686	71,891	47,293
国債	528,753	418,525	68,046	43,266
地方債	3,395	2,150	2	1,243
社債	46,637	40,011	3,843	2,784
外国債券	188,695	129,010	57,904	2,264
国内株式	44,151	31,482	7,888	5,468
外国株式	2,091	2,083	5	1
その他	60,653	41,882	8,093	10,642
小計	988,957	759,353	162,658	72,867
担保提供分	▲ 290,300	▲ 176,020	▲ 90,941	▲ 47,536
合計	698,656	583,333	71,718	25,331

- (注) 1. 有価証券は、その他有価証券、満期保有目的有価証券、売買目的有価証券のうち、時価のあるものを計上しております。
2. 担保提供分は、借入金、売渡手形、為替決済等の取引の担保や先物取引証拠金等の代用として差し入れている有価証券の金額です。
3. 上記流動資産は、バーゼルⅢ流動性規制における適格流動資産とは一致するものではありません。
4. 主要業態の合計とMUFGの数字は、グループ内取引等により、一致するものではありません。

[規制対応状況について]

- ▶ 27年よりバーゼルⅢの流動性規制として、流動性カバレッジ比率(Liquidity Coverage Ratio: LCR)が導入される予定。
同規制では、ストレスシナリオ発生時における1ヶ月間の資金流出をカバーする高品質の流動資産(High Quality Liquid Assets: HQLA)を一定水準保有することが求められる。
- ▶ MUFGが保有する日本国債等の高品質の流動資産残高は、同規制で求められる水準を大幅に上回っており、潤沢な流動性準備を有しているといえる(試算ベース)。

4. 流動性リスクに係る情報

(2) 主要な調達手段と期間構成

- MUFGにおける主な資金調達手段は、普通預金、譲渡性預金や定期預金等の顧客預金。
 - ✓ 法人顧客や個人顧客からの定期預金は、これまで高い継続率を示している。
 - ✓ 本邦における広範な顧客層及び、安全性の高い大手金融機関への預金志向等を要因として、MUFGの顧客預金の残高は、26年3月末時点で160兆3千億円まで増加。
 - ✓ これらの顧客預金は株主資本とともに、MUFGの総資産258兆1千億円に対し約66%を占め、MUFGにとって安定かつ低コストの調達手段となっている。
- その他の資金調達手段は、主に短期借入、長期債発行による調達。
 - ✓ 短期借入は、コールマネーや売渡手形、レポ取引等。
 - ✓ 長期債については、主にシニア社債や劣後債発行による調達。

定期預金・譲渡性預金、借入金・社債の期間構成

平成26年3月末時点

(単位:億円)	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 7年以内	7年超 10年以内	10年超
定期預金・譲渡性預金	610,591	90,562	13,916	938	924	27
借入金	72,660	19,770	5,382	1,982	5,642	2,850
社債	14,120	20,700	12,773	6,825	12,650	8,946
合計	697,371	131,033	32,071	9,745	19,216	11,823

平成25年3月末時点

(単位:億円)	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 7年以内	7年超 10年以内	10年超
定期預金・譲渡性預金	560,603	88,782	14,013	979	897	23
借入金	84,047	9,667	3,739	3,205	3,570	3,354
社債	15,401	14,215	10,372	5,076	12,963	7,740
合計	660,051	112,664	28,123	9,260	17,430	11,117

- (注) 1. 顧客預金のうち定期預金及び譲渡性預金、借入金及び社債による調達の期間構成(返済・償還期限)を示したものです。
2. 社債には短期社債及び劣後債が含まれております。
3. 借入金・社債のうち、返済・償還期限の定めのない借入金・社債につきましては、「10年超」にしております。

5. 資本

【自己資本の推移】

- ▶ 利益剰余金の増加を主因として、普通株式等Tier1資本は8,524億円増加。
- ▶ 旧Tier1資本(優先株式・優先出資証券)及び旧Tier2資本(劣後債務)は資本算入上限の低下に伴い減少したものの、普通株式等Tier1資本の増加及び為替換算調整勘定の改善を主因として、総自己資本は7,203億円増加。

(単位:億円)	25/3	26/3	増減
普通株式等Tier1	103,005	111,530	8,524
基礎項目	103,005	114,933	11,928
株主資本の額	100,802	108,198	7,395
資本金及び資本剰余金	39,223	39,248	25
利益剰余金	62,679	70,331	7,651
社外流出予定額(▲)	1,080	1,364	283
少数株主持分	2,113	3,228	1,114
その他包括利益累計額	-	3,419	3,419
調整項目(▲)	-	3,403	3,403
無形固定資産	-	2,680	2,680
退職給付に係る資産の額 ^{*1}	-	590	590
金融機関出資等(ダブルギアリング)	-	-	-
その他Tier1	9,142	11,888	2,745
基礎項目	14,268	18,010	3,742
その他Tier1資本調達(新基準)	-	-	-
旧Tier1資本(優先株式・優先出資証券)	14,917	13,260	▲1,657
少数株主持分	1,304	1,492	188
(経過措置)為替換算調整勘定	▲1,954	3,257	5,212
調整項目(▲)	5,125	6,122	996
(経過措置)無形固定資産	4,993	6,014	1,020
Tier1(普通株式等Tier1+その他Tier1)	112,148	123,418	11,270
Tier2	34,591	30,524	▲4,066
基礎項目	36,166	31,832	▲4,334
Tier2資本調達(新基準)	-	-	-
旧Tier2資本(劣後債務)	23,849	21,199	▲2,649
一般貸倒引当金・適格引当金	2,350	2,296	▲53
(経過措置)その他有価証券含み益	8,458	6,714	▲1,744
(経過措置)土地再評価差額金	1,429	1,126	▲303
調整項目(▲)	1,575	1,307	▲267
(経過措置)関係会社のれん	1,445	1,250	▲195
総自己資本(Tier1+Tier2)	146,739	153,943	7,203

*1 25年3月末は前払年金費用の額